

週刊NY生活

www.nyseikatsu.com

NY生活プレス社 NO. 195 (週刊) 2008年2月9日土曜日

• NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC. ☎ (212) 213-6069
• 18 EAST 41st STREET, SUITE 403, NEW YORK, NY 10017

5日ミートパッキング地区に完成したヨウジ・ヤマモトの旗艦店(撮影・ワインスタイン今井絹江)



山本耀司のY3

ホッパリーの絵から 抜け出してきた?

「アンチモードによつてモードを制する」を服作りのコンセプトにするファッション・デザイナー、ヨウジ・ヤマモトの旗艦店が、20年前にオープンしたソ1ホール店に続き、ミートパッキング地区のガンスヴォルト通りに完成し、そのオープニングパーティーが5日に行われた。

基本設計を担当したのは、今年のベネチア・ピエンナーレの日本館の建築家にも選ばれた、今注目の若手建築家、石上純也氏。実施設計と監理を担当したニューヨークのラルフ・ソベル・アキテクトに勤める建築家・写真家の廣木邦明氏は「1階建ての三角形の即座にレンガ建物を切り欠いて中庭を作り、2棟からなるこの設計は、マンハッタンでは他に例がなく、シンブル中にも、緩やかなカーブを描く透過性の高いガラスを用い、建物の角に鋭いエッジを作ることで、建物自体がショーケースのような役割を果たしている」と語る。

それはまるで、アメリカの画家、エドワード・ホッパリー(1882年〜1967年)の代表作「ナイト・ホークス」(1942年「夜更かしする人々」)の3人の客と店員が店内から消えた後の建物のような美しさ。

この石上氏独自のデザインをニューヨークで実現させるまでに、約2年の歳月をかけたという。大きい方の1棟が店舗となり、ファミ(女性)とオム(男性)のコレクションと、ミキモトとの共同事業によるアクセサリーライン、ストゥーミー・ウエザリーを取り扱う。また、3日夜には、同ブランドとアディダスのコラボレーション「Y3」のショーがピア40で開かれた。ランウェイの片側には水の壁が作りあげられ、スポーティな中山本の遊び心が感じられる服が水越しに浮かび上がるという、幻想的な演出が施された。冬に氷を使ったショーということ、観客には寒さ対策としてブランケットと携帯カイロが配られた。